シラバス情報

	<u> </u>	110 101			
授業方法	講義・実験・実				
系 列		実習			
科目名	シャシ整備				
必修・選択	必修科目・選択科目				
 対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科				
年次学期・曜日・時限					
	91.2時限(期末試験を除く)				
 担当教員名	友川 強史・廣石 泰大・(他1名)				
	(有) · 無				
実務経験	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備				
	士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるシャシの構造や調整作業に				
	ついての実習を実施する。				
授業の目的	自動車整備において必要となる制動装置の構造、機能、点検及び調整作業を実施する。				
	自動車整備において必要となる緩衝装置、動力伝達装置及び制動装置の構造、機能、点				
	検及び調整作業を実施する。				
_ ,	ch 777 — 1				
テキスト	実習アキスト	実習テキスト			
拉娄口粉		内应,大计学	使用テキスト		
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲		
授業回数 第1回	制動装置の構造、構成部品	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブ	範囲 実習テキスト		
	制動装置の構造、構成部品 確認 1	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブ レーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ	範囲 実習テキスト (ブレーキ)		
	制動装置の構造、構成部品 確認 1 制動装置の構造、構成部品	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、	範囲実習テキスト (ブレーキ)実習テキスト		
第1回第2回	制動装置の構造、構成部品 確認 1 制動装置の構造、構成部品 確認 2	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施	範囲実習テキスト (ブレーキ)実習テキスト (ブレーキ)		
第1回	制動装置の構造、構成部品 確認 1 制動装置の構造、構成部品 確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組	範囲実習テキスト (ブレーキ)実習テキスト		
第1回第2回第3回	制動装置の構造、構成部品 確認 1 制動装置の構造、構成部品 確認 2	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施	範囲実習テキスト (ブレーキ)実習テキスト (ブレーキ)実習テキスト		
第1回第2回	制動装置の構造、構成部品 確認 1 制動装置の構造、構成部品 確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組 立、構造確認	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得	範囲実習テキスト (ブレーキ)実習テキスト (ブレーキ)実習テキスト (ディスク)		
第1回 第2回 第3回 第4回	制動装置の構造、構成部品 確認 1 制動装置の構造、構成部品 確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組 立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立	 範囲 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ディスク) 実習テキスト 		
第1回第2回第3回	制動装置の構造、構成部品 確認 1 制動装置の構造、構成部品 確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組 立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組 立、構造確認	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立 作業要領の習得 タンデム・マスタ・シリンダの構造、分解、組立、エア抜き作業要領の習得	 範囲 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ディスク) 実習テキスト (ドラム) 		
第1回 第2回 第3回 第4回	制動装置の構造、構成部品確認 1 制動装置の構造、構成部品確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組立、構造確認 タンデム・マスタ・シリン	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 タンデム・マスタ・シリンダの構造、分解、組立、エア抜き作業要領の習得 各種制動装置の残厚、ロータ振れ測定、フ	 範囲 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ディスク) 実習テキスト (ドラム) 実習テキスト (マスタ) 実習テキスト 		
第 1 回 第 2 回 第 3 回 第 4 回 第 5 回	制動装置の構造、構成部品確認 1 制動装置の構造、構成部品確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組立、構造確認 タンデム・マスタ・シリン ダの分解、組立、構造確認	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立 作業要領の習得 タンデム・マスタ・シリンダの構造、分解、組立、エア抜き作業要領の習得 各種制動装置の残厚、ロータ振れ測定、フルード交換、エア抜き作業要領習得	 範囲 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ディスク) 実習テキスト (ドラム) 実習テキスト (マスタ) 		
第 1 回 第 2 回 第 3 回 第 4 回 第 5 回	制動装置の構造、構成部品確認 1 制動装置の構造、構成部品確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組立、構造確認 タンデム・マスタ・シリン ダの分解、組立、構造確認	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立 作業要領の習得 タンデム・マスタ・シリンダの構造、分解、組立、エア抜き作業要領の習得 各種制動装置の残厚、ロータ振れ測定、フルード交換、エア抜き作業要領習得 第1回~第6回までの授業内容に関する	 範囲 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ディスク) 実習テキスト (ドラム) 実習テキスト (マスタ) 実習テキスト 		
第1回第2回第3回第4回第5回第6回	制動装置の構造、構成部品確認 1 制動装置の構造、構成部品確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組立、構造確認 タンデム・マスタ・シリンダの分解、組立、構造確認 制動装置の点検整備作業 1	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 タンデム・マスタ・シリンダの構造、分解、組立、エア抜き作業要領の習得 各種制動装置の残厚、ロータ振れ測定、フルード交換、エア抜き作業要領習得 第1回〜第6回までの授業内容に関する 実技試験	 範囲 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ブレーキ) 実習ティスク) 実習テキスト (ドラム) 実習マスト (マスタンスト (ブレーキ点検) 別途課題 		
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	制動装置の構造、構成部品確認 1 制動装置の構造、構成部品確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組立、構造確認 タンデム・マスタ・シリンダの分解、組立、構造確認 制動装置の点検整備作業 1 ステップ試験(中間試験) ホイール・アライメント測	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立 作業要領の習得 タンデム・マスタ・シリンダの構造、分解、組立、エア抜き作業要領の習得 各種制動装置の残厚、ロータ振れ測定、フルード交換、エア抜き作業要領習得 第1回~第6回までの授業内容に関する	 範囲 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ディスク) 実習テキスト (ドラム) 実習テキスト (マスタ) 実習テキスト (ブレーキ点検) 		
第1回 第2回 第3回 第4回 第6回 第7回	制動装置の構造、構成部品確認 1 制動装置の構造、構成部品確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組立、構造確認 タンデム・マスタ・シリンダの分解、組立、構造確認 制動装置の点検整備作業 1 ステップ試験(中間試験)	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 タンデム・マスタ・シリンダの構造、分解、組立、エア抜き作業要領の習得 各種制動装置の残厚、ロータ振れ測定、フルード交換、エア抜き作業要領習得 第1回~第6回までの授業内容に関する 実技試験	 範囲 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ブレーキスト (ディスク) 実習テキスト (ドラム) 実習テキスト (ブレーキスタ) 実習アキ点検) 別途課題 実習テキスト 		
第1回第2回第3回第4回第5回第6回	制動装置の構造、構成部品確認1 制動装置の構造、構成部品確認2 ディスク・ブレーキ分解、組立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組立、構造確認タンデム・マスタ・シリンダの分解、組立、構造確認制動装置の点検整備作業1ステップ試験(中間試験)ホイール・アライメント測定、調整1	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 タンデム・マスタ・シリンダの構造、分解、組立、エア抜き作業要領の習得 各種制動装置の残厚、ロータ振れ測定、フルード交換、エア抜き作業要領習得 第1回〜第6回までの授業内容に関する 実技試験 キャンバ・キャスタ・キングピン・ゲージ の取り扱い方の習得	 範囲 実習テキスト (ブレーキ) 実習テキスト (ブローキスク) 実習テキスト (ドラム) 実習テキスト (ドラム) 実習テキスト (ブレーキスト) 実習テキスト (ブレーキスト) 別途課題 実習テイメント) 		
第1回 第2回 第3回 第4回 第6回 第7回	制動装置の構造、構成部品確認 1 制動装置の構造、構成部品確認 2 ディスク・ブレーキ分解、組立、構造確認 ドラム・ブレーキ分解、組立、構造確認 タンデム・マスタ・シリンダの分解、組立、構造確認 制動装置の点検整備作業 1 ステップ試験(中間試験) ホイール・アライメント測定、調整 1 ホイール・アライメント測	ブレーキ・ペダルを踏んでから各車輪にブレーキが掛かるまでの仕組みを学ぶ 真空式制動倍力装置を分解し、内部構造、 作動の確認実施 ディスク・ブレーキの構造確認、分解、組立作業要領の習得 ドラム・ブレーキの構造確認、分解、組立 作業要領の習得 タンデム・マスタ・シリンダの構造、分解、組立、エア抜き作業要領の習得 各種制動装置の残厚、ロータ振れ測定、フルード交換、エア抜き作業要領習得 第1回〜第6回までの授業内容に関する 実技試験 キャンバ・キャスタ・キングピン・ゲージの取り扱い方の習得 ホイール・アライメント及びトーの測定、	 範囲 実習テキスト (ブレーキー) 実習ティスト (実習ティスト) 実習ティスト (アテラム) 実習テキスト (アテキスト) 実習テキスト (アライティスト) 実習ティスト (アライティスト) 実習ティスト (アライティスト) 実習ティスト (アライティスト) 実習ティスト (アライティスト) 実習ティスト (アライティスト) 実習ティスト (アライア・スト) 実際の (アライア・スト) 実際の (アライア・スト) 実際の (アライア・スト) 実際の (アライア・スト) <l< td=""></l<>		

第10回	操舵装置脱着、トー調整	操舵装置の脱着作業に関わる注意事項の確	実習テキスト	
		認と調整要領の習得	(ステアリング)	
第11回	ドライブ・シャフト脱着、	ドライブ・シャフト・ブーツの交換作業に	実習テキスト	
	分解、組立	関わる注意事項の確認	(ドラシャ)	
第12回	制動装置の点検整備作業 2	第1回~第6回と同様の作業を繰り返し実		
		施することで作業の習熟を図る		
	 ステップ試験(中間試験)	第7回~第12回までの授業内容に関する	別途課題	
	Y Y Y HE WOOL (I THOUSE WOUL)	実技試験	737.24117.2	
	期末試験	第1回~第12回までの授業内容に関する		
		実技試験		
	┃ ┃自動車整備において必要となる制動装置の構造、機能、点検及び調整作業を理解する。			
到達目標	自動車整備において必要となる緩衝装置、動力伝達装置及び制動装置の構造、機能、点			
	検及び調整作業を理解する。			
	 平常点(小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度)、ス			
成績評価方法				
	テップ試験(中間試験)並びに期末試験を合算して行う。 			
	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。			
定期試験受験資格	欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。			
成績評価基準	成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする			
	整数について、次の割合で行う。			
	中間試験の点数 30%			
	期末試験の点数 40%			
	平常点 30%			
	上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって			
	評価する。			
	60~69点=可、70~79点=良、80~89点=優、90点以上=秀			
	60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、			
	成績は60点=可とする。			
 成績評価できない	全実習を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、			
場合の基準	又は、成績評価が60点未満の場合。			